

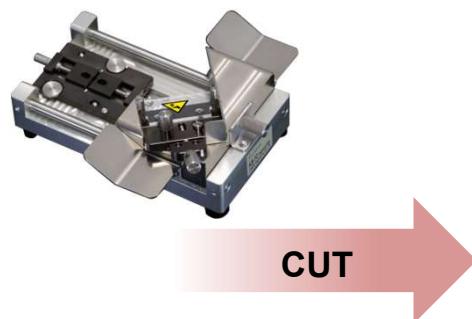
乾燥トウモロコシの断面測定

KS-10型断面出しスライサーを用い、乾燥トウモロコシを長辺方向にカットしました。顕微ATR法によりトウモロコシ内部の部分的な違いを測定することができます。

KS-10型断面出しスライサーによる
乾燥トウモロコシの切斷



切斷前

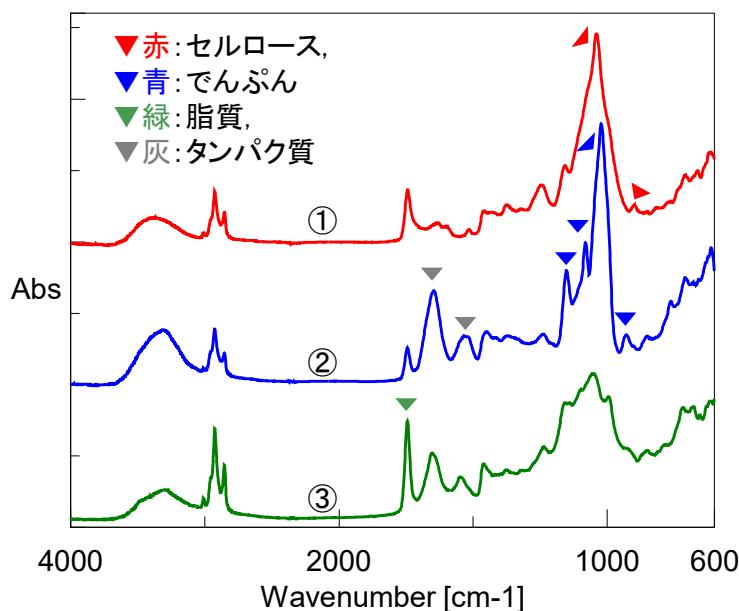


得られたトウモロコシ断面

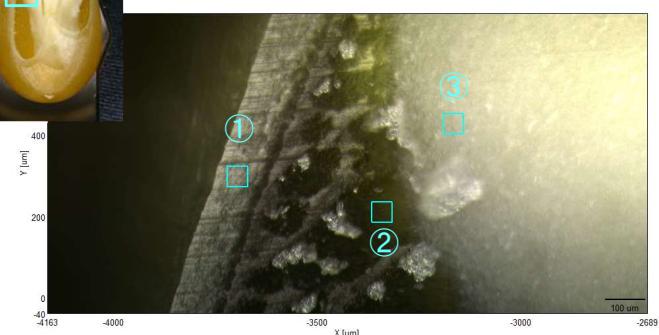


切斷後

乾燥トウモロコシの断面のATRスペクトル



トウモロコシの測定部位



トウモロコシの測定部位(顕微FT-IRでの観察画像)

Condition

顕微ATR法-Ge, 4 cm⁻¹, 64回積算, 日本分光製赤外顕微鏡使用, アーチャサイズ50 × 50 μm,
KS-10型断面出しスライサー使用

Master's Memo

- KS-10で作成した断面は平滑なため、ATR法でも十分測定することができます。
- コメ同様、部位により、タンパク質・脂質・でんぶんの分布が異なることがわかりました。